

祝・“ブッカー国際賞最終候補ノミネート” 記念企画展

2020年、岡山市出身の作家小川洋子の作品『密やかな結晶』を英訳した『The Memory Police』が、世界的にも権威のある「ブッカー国際賞」最終候補6作品に選定された。受賞こそ逃したものの、最終候補となったこと自体、小川洋子作品を通じて、日本純文学の芸術性と魅力が世界に評価された快挙である。今回の企画展では、“故郷岡山”で過ごした日々の貴重な資料をもとに小川洋子の原点にせまる。

<プロフィール>

- 1962(昭和37)年 岡山市生れ。
- 1984(昭和59)年 早稲田大学第一文学部卒。
- 1986(昭和61)年 結婚を機に念願だった小説を落ち着いて書き始める。
- 1988(昭和63)年 『揚羽蝶が壊れる時』で海燕新人文学賞受賞。
- 1991(平成3)年 『妊娠カレンダー』で芥川龍之介賞受賞。
- 1992(平成4)年～ 岡山・吉備の国文学賞審査員となる。(現、内田百閒文学賞最終審査員)
- 2004(平成16)年 『博士の愛した数式』で読売文学賞、本屋大賞受賞。
『ブラフマンの埋葬』で泉鏡花文学賞受賞。
- 2006(平成18)年 『ミーナの行進』で谷崎潤一郎賞受賞。
- 2007(平成19)年～ 芥川龍之介賞選考委員を務める。
- 2013(平成25)年 『ことり』で芸術選奨文部科学大臣賞受賞。
- 2020(令和2)年 『密やかな結晶』の英語版『The Memory Police』が英ブッカー国際賞の最終候補にノミネートされる。

“密やかな”

小川洋子の世界展

～世界へと日本純文学を発信する作家の原点をたどる～

2020.12.13(日)～2021.3.28(日)

吉備路文学館

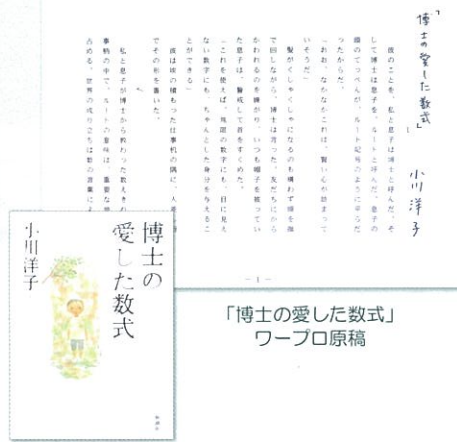
KIBIJI LITERARY MUSEUM



『妊娠カレンダー』
(文藝春秋/1991年)



『アンネ・フランクの記憶』
(角川書店/1995年)



『博士の愛した数式』
(新潮社/2003年)



朝日高校時代の作品

～「東京芸術劇場」の感動を岡山で!～ 要予約・事前申込

<企画展特別イベント>

舞台「密やかな結晶」(原作:小川洋子)上映会

2018年に「東京芸術劇場」で行われた舞台「密やかな結晶」を映像で鑑賞いただけます。

日程:令和3年1月9日(土)、1月10日(日)、1月16日(土)、1月17日(日)

時間:各日13:00～15:30

会場:吉備路文学館2階北泉ホール

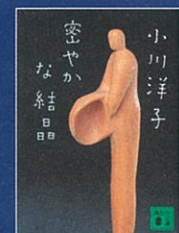
参加定員:各日35名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

鑑賞料金(入館料・税込み)

一般:2,500円 大学・高校生:2,000円 中学生以下:1,500円

予約方法:ご希望日を電話で予約ください。(TEL 086-223-7411)

※当日、お車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



原作:小川洋子
『密やかな結晶』
(講談社文庫)

脚本・演出:鄭義信

出演:石原さとみ 村上虹郎 鈴木浩介
藤原季節 山田ジェームズ武
福山康平 風間由次郎
山内圭哉 ベンガル 他

企画制作・映像提供:ホリプロ